

6月24日

### 2度目の全国大会出場へ 谷田美優さんが詩舞で全道優勝

谷田さん中央と鈴木代表(左)



弟子屈高校1年の谷田美優さんが、6月15日に行われた日本コロムビア全国剣詩舞コンクール大会北海道地区予選・詩舞の部で優勝し、9月20日に茨城県で行われる全国大会への出場を決めました。また、剣舞の部でも準優勝に輝きました。

小学校2年生から、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部(鈴木幸栄代表)で詩舞を学ぶ谷田さん。同大会への出場は5回目で、優勝は一昨年に続いて2回目です。6月24日に役場を訪れた谷田さんは「2回目の全国大会なので、今回は優勝を目指したい」と抱負を語りました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

6月26日

### 皆さんが歩きやすい登山道に 摩周岳登山道でササ刈り

手分けして丁寧に作業



川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが6月26日、摩周岳登山道のササ刈りを行いました。

毎年初夏と秋の2回、登山道入り口から西別岳への分岐点となる片道約5.6キロの間で実施しています。今年度1回目のこの日は25人が参加。4グループに分かれ、5人の町森林組合員が機械で草を刈り、後続の人たちが熊手を使って払っていきましました。作業は5時間ほどで終了し、歩きやすい登山道となりました。次回は9月に行われる予定です。

6月25日

### 勤労報国隊を忘れない 援農の碑記念式を開催

当時の生徒の奮闘歌を斉唱



太平洋戦争中の1945(昭和20)年、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校(現・久慈東高校)の生徒をたたえる「援農の碑」記念式が6月25日、摩周観光文化センター敷地内にある同碑前でられました。

同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年6月25日、かつて受け入れ農家だった方など関係者が建立。同碑前での式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となって毎年6月25日に行っています。今年は21人が出席し、生徒たちの功労や苦勞に思いをはせました。

7月4日

### 外来種駆除通して環境保全学ぶ 児童・生徒によるジュニア・パーク・レンジャー

オオハングソウを駆除



弟子屈小学校児童、弟子屈中学校・弟子屈高校生徒によるジュニアパークレンジャー事業(同実行委員会主催)が7月4日、美留和地区で行われました。

国指定の特定外来種・オオハングソウ(北米原産)の駆除を通して、地域の自然環境保全や社会貢献活動への関心を高めようというもので、昨年に引き続き2回目です。子どもたちは、環境省川湯自然保護官事務所や川湯エコミュージアムセンターの職員、パークボランティアの皆さんから、オオハングソウと他の植物との区別の仕方について説明を受け、駆除に挑戦。協力し合いながら、根本から引き抜いていました。

7月2日

### 楽しい本をたくさん積んで おはなしキャラバン隊が来町

たくさんの絵本うれしね



たくさんの本をキャラバンカーに積んで全国を回っている「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が7月2日、おひさま保育園を訪れました。

キャラバンカーの来町は4年ぶり。約550冊の本を積んだキャラバンカーに子どもたちは大喜びで、思い思いの本を手にとっていました。また、キャラバン隊や、絵本の会「おはなしはらっば」(笹島久美代表)の皆さんによる絵本や紙芝居の読み聞かせも行われ、子どもたちを魅了しました。

お世話になりました!

## ALTのウィリアムとエリックが退任



2012年8月から、ALT(外国語指導助手)として子どもたちの英語指導にあたってきたウィリアム チェサーさん(写真左)と、エリック オードルさん(同右)が、2年間の任期を終えました。

今後は、ウィリアムさんが静岡県教育委員会へ、エリックさんは母国アメリカ合衆国へ帰国。2人のさらなる活躍が期待されます。

2年前、英語指導助手としてアメリカから弟子屈町に来て、かけがいのない経験をしました。小学校や中学校、ときには幼稚園や高校にも行き、英語を通じて子どもたちとたくさんふれ合うことができました。その中で自分自身もアメリカと日本の文化の違いを感じることができました。

次に来るALTのためにお願いがあります。次に来る人は、日本語が上手かどうか分かりませんが、日本語や日本の文化を学ぶために来ています。もし日本語が分からないことがあっても、逃げずに聞き取ろうとするはず。そこから、面白いコミュニケーションや異文化理解が始まっていくと思います。ですから、新しいALTにも普通どおりにたくさん話しかけてあげてください。

最後に、この2年間でできた仲良しな人たちを決して忘れません。ありがとうございました。

William Chesser

Eric Odle

## サイクルのすすめ



普段、何気なく捨てているそのごみ。きちんと分ければ資源になるかも? ごみ袋代がお得になる資源ごみの分別を覚えて、地球にも家計にも優しくなしましょう!

## ちょっと待って! その分別あっていますか?

陶磁器製の容器を、資源ごみ(その他の色のガラス瓶)として出していないですか?

陶磁器製の容器(焼酎容器などは、ガラス瓶ではありません。『燃やせないごみ』に分別しましょう。

その他、乳白色の容器(化粧品の容器など)も、資源ごみになりません。

詳しくは、てしかがの「ごみの出し方・分け方辞典」たつじんをお読みください。



陶磁器製の容器

### ワンポイント

- 瓶として分別するのは、ガラス瓶だけ!
- ガラス瓶は3つの色に分別!  
(「無色」「茶色」「その他の色」)

問い合わせ先/役場環境生活課環境係 ☎482-2934(課直通)



7月16日

### みんなで住みよいまちづくりを 社会を明るくする運動の街頭啓発



フクハラ前で街頭啓発(上)弟小啓発品贈呈(下)

社会を明るくする運動強調月間の7月、保護司や更正保護女性会などで組織する実行委員会の皆さんによるさまざまな啓発活動が行われました。

14日には摩周の里夏まつりの会場で啓発活動を行ったほか、16日には、J A摩周湖前とフクハラ摩周店前で買い物客にティッシュなどを手渡し、住みよいまちづくりへの理解と協力を呼び掛けました。また、町内小・中学校を訪問し、子どもたちへクリアファイルとパンフレットを贈りました。

7月14日

### ふるさとの釧路川を豊かに リバープロテクション・21の会がヤマメを放流



無事に大きくなると願いを込めて

釧路・リバープロテクション・21の会(上田光夫会長)主催によるヤマメの稚魚の放流が7月14日、摩周温泉公園の釧路川護岸で行われました。

魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約40人が参加。弟子屈小学校(阿部典子校長)の2年生43人と摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)の年長児39人も招待され、体長10センチほどのヤマメ1,500匹を放流しました。上田会長は「昔のようにヤマメがいる川になってほしい」と話していました。

7月4・5日

### ユニバーサルデザインの宿が縁 風曜日で車椅子シンガーユニットが公演



田中さん(中央)と高橋さん(左)

女性ユニット「Dri Ori(ドリオリ)」の公演が7月4・5の両日、ピュア・フィールド風曜日(弟子屈原野)で行われました。

DriOriは、車椅子の田中さおりさん(岩手県在住)と岩手県立大学大学院で社会福祉学を専攻する高橋緑さん(同)のユニット。障がい者の旅行について研究している高橋さんが、友人である田中さんを誘って今年3月、ユニバーサルデザインのホテル、ピュア・フィールド風曜日を訪れたことが縁で、今回の公演が実現しました。弟子屈の人と自然に魅了された二人は、また来町したいと話しています。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐごかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

7月21日

### 森とふれあい人とふれあう 原野のもりの木育ひろば



火おこしはちょっと難しい

てしかが自然学校(萩原寛暢代表)主催の「原野のもりの木育ひろば」が7月21日、弟子屈原野で行われました。

道認定木育マイスターで環境教育や自然体験活動などのコーディネーターを行う萩原さんが、自然とのふれあいと参加者同士の交流の場として企画したもので、親子連れなど20人が参加。のこぎりできぎにする枝を切り出したり、おのを使ってのまき割り、火おこしなどに挑戦し、たき火でパンなども焼きました。ほかに、木と木の間に渡したロープで遊んだり、虫よけスプレーを作るなど、子どもも大人も森との関わりを楽しみました。

7月20日

### 外来種のオオハングソウを駆除 エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事



川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「阿寒国立公園指定80周年記念・川湯から外来種をなくそう」が7月20日に行われました。

今回は、野生動植物の保護・管理という視点から、特定外来生物のオオハングソウを駆除。センター内で外来生物に関する解説を聞いた後、実際に川湯温泉街の一角で、1本ずつ根から引き抜き、約500本を駆除しました。同じ場所で2年前から作業を実施していて、経年変化を記録中です。

参加した皆さんからは「まずはやってみようと思った」「今後は外来種に関心が持てる」といった声が聞かれました。

7月9日

### ワールドカップを盛り上げて 町内4郵便局が小学校にW杯レプリカ球寄贈



ボールうれしいな

弟子屈・川湯・美留和・屈斜路の各郵便局が、町内6小学校に2014FIFAワールドカップ公式試合球「ブラズーカ」のレプリカを寄贈しました。

ゆうちょ銀行と郵便局によるワールドカップ応援企画の一環。実際に試合で使われているボールと同じデザインで、小学生サイズで作られたものです。

7月9日には、奥春別小学校(中村涼子校長)に贈呈。藤原将男弟子屈郵便局長から、児童会長の守屋陽平君にボールが手渡されました。ボールは一定期間展示した後、実際に使用できるとあって、子どもたちが楽しみにしていました。

7月6日

### 巨大スクリーンで紙芝居を楽しむ チャリティーイベント「映画巨大紙芝居」



巨大スクリーンに見入る観客

チャリティーイベント「映画巨大紙芝居」が7月6日、摩周観光文化センターで開催されました。

東日本大震災の被災地で救援活動が続ける木名瀬裕さん(札友内)の支援、地元の人材と施設を活用したイベントの創設を目的に、フジワラトシカズさん(美留和)ほか有志が企画したもの。「モチモチの木」などを朗読劇風の紙芝居にして上演したほか、町民の皆さんによるミニコンサートなども行われ、多くの皆さんでにぎわいました。次回は12月に行われる予定です。

7月22日

### 緑多いまちづくりに役立ててください 弟子屈中学校生徒が緑の募金を寄附



募金を手渡す弟中生徒会の皆さん

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄附されました。

緑の募金運動は約3カ月間行われ、自治会や企業、学校、個人の皆さんなどから募金をいただきました。7月22日には、弟子屈中学校(坂東薫校長)の生徒会の皆さんが役場を訪れ、生徒の皆さんから協力していただいた募金を徳永町長に手渡しました。募金は、町内の緑化推進に役立てられます。

7月22日

### 長年にわたり地方自治の発展に貢献 故 三浦純さんが旭日単光章を受章



三浦さんの遺影に向かって受章を報告

5月に逝去された、元・町議会議員の故三浦純さん(川湯温泉2)に、特別叙勲・旭日単光章が授与されました。

伝達は7月22日に行われ、三浦さんの妻・昌子さんに、徳永町長から勲章と勲記が手渡されました。

三浦さんは、1983年5月から1995年4月まで3期12年にわたり、町議会議員を務めました。長年にわたって地方自治の発展に貢献したとして、この度の受章となったものです。

7月11日

### 安全運転で楽しい道内観光を 美幌・弟子屈両町合同の交通安全啓発



両町合同で旗の波街頭啓発

美幌町と弟子屈町合同の交通安全啓発が7月11日、国道243号、道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」前で行われました。

夏の観光シーズンを迎えるに当たり、オホーツクと釧路・根室管内をつなぐ同国道で交通安全を呼び掛けようと、約180人が参加して行われたものです。警察関係者のほか、本町からは交通安全運動推進協議会、交通安全協会、交通指導員会、女性ドライバークラブの皆さんが参加。旗の波を行ったほか、ドライバーに啓発品を手渡し、交通安全を呼び掛けました。

7月11日

### 道行くドライバーに交通安全を呼び掛ける 旗の波による街頭啓発



安全運転でお願います

町交通安全運動推進協議会と町交通安全協会の共催による旗の波街頭啓発活動が、全道夏の交通安全運動初日の7月11日、摩周観光文化センター前の国道391号で行われました。

開会式で同協議会長の徳永町長は「町内交通事故ゼロが、6月21日に543日でストップした。観光客に事故なく帰ってもらうとともに、町民も事故を起こさず、死亡事故ゼロの記録を重ねていきたい」とあいさつ。その後、参加した約100人が安全旗を手に、行き交うドライバーにパンフレットなどの啓発グッズを手渡し、交通安全を呼び掛けました。